

2012年11月20日

インドで生育する樹木のエキス 「ブランノール®」に新たな美白機能を発見

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：岩崎泰夫）は、ブランノールに美白機能があることを見出しました。

シミは、年齢や季節などに関わらず、多くの女性が持つ肌悩みです。市場では、美白機能を備えた医薬部外品を使ったスキンケアや、シミケアを謳った医薬品を内服するなど、外からだけでなく、体の中からもケアする「内外美容」も一般的になっています。一方、食品用の素材としてはビタミンCやビタミンEといったビタミン類の活用が一般的であり、新たな美白食品用素材の探索が求められています。

ブランノールは、インドキノキ（図1）と呼ばれるインド南部からスリランカに生育する常緑樹の心材から抽出されたエキスです。インドでは古くから健康や老化防止のためにインドキノキの心材で作ったコップに水をため、その水を飲んでいたといわれています。また、暑さの厳しい環境でも育つ樹木であることから、「生命力」の象徴とされる植物です。このように、心材には健康に役立つ成分が多く含まれていると伝承されてきたことから、ポーラ化成工業㈱では、その樹木の心材から成分を抽出し、新たな機能性素材としての研究を進めてきました。

図1 インドキノキ（左：樹木全体、右：丸太）



心材部分のみを粉碎し、含水エタノールにて抽出し、抽出液を乾燥してエキスパウダーにして、ブランノールを作成した。

ブランノールには、動脈硬化の原因のひとつである過酸化脂質の発生を抑制する作用があるが、それ以外に美白機能が期待できる抗炎症作用もあることから、美白機能について研究してきました。その結果、ブランノールは細胞において、メラニンの産生を抑制し（図2）、またメラニン合成酵素のチロシナーゼの阻害を行うことでシミの発生を抑制することがわかりました。さらにヒトが飲用した際にも、色素沈着に対する強い改善作用（図3）や長期の連用によるシミの抑制効果が確認されました。

以上のことから、ブランノールは、シミで悩む女性や健康へのサポートを行うことが可能であると考えられます。

ブランノールの美白機能については、2012年8月29日から31日に札幌にて開催された第59回日本食品科学工学会にて発表いたしました。

さらに本研究で有用性が明らかになったブランノールは2013年2月に㈱ポーラより発売される健康食品に活用される予定です。

ブランノールはポーラ化成工業（株）の登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】 (株) ポーラ・オルビスホールディングス 広報・IR室
Tel 03-3563-5540 / Fax 03-3563-5543

【補足資料】

図2 ブランノールと一般的な美白素材（トラネキサム酸、L-システイン）を細胞に添加し、メラニンの生成を抑制する力を測定し比較した。その結果、ブランノールは、一般的な美白素材よりも約70倍のメラニン産生抑制作用が確認された。

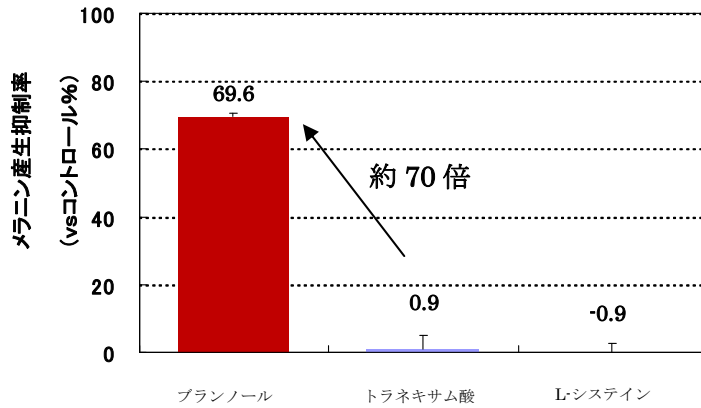
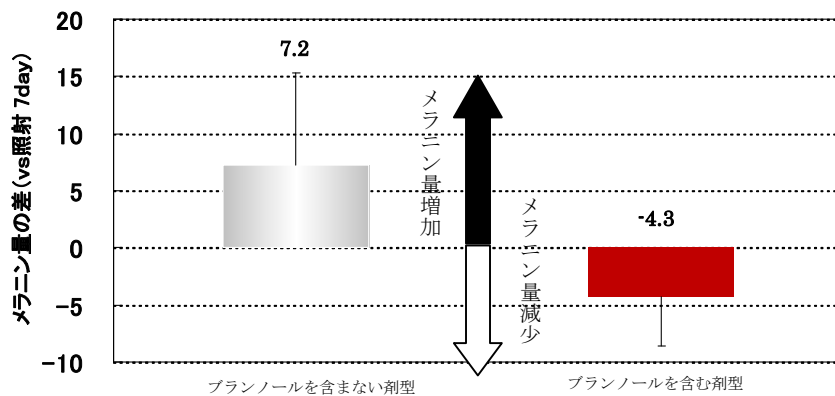


図3 日焼け状態を再現するため、ヒトの上腕内側部位に紫外線を照射し、黒く色素沈着させた。色素沈着して1週間後と2週間後の肌について、メラニンの量を比較して、日焼け部位のメラニン量の改善を評価した。その結果、ブランノールを飲用すると、2週間でメラニン量が減少し肌の色素沈着が改善することがわかった。



※数値が0よりも大きいと、一週間後よりもメラニン量が増加、小さいとメラニン量が減少していることを示す。